

性被害の惨めさ・残酷さ、性犯罪被害者がどれだけ苦しみにぬいて生きているかをひとりでも多くの方にお知らせすることで、あいりちゃんの事件がいかに卑怯卑劣極まりないものかを知っていただき、少しでも性犯罪への理解が広がり、あいりちゃんの事件のようなことが少しでもなくなることを願って止みません。

## 私が受けた性暴力被害

私は8歳の時に従兄にレイプされました。普段は優しい従兄だったのに、汚い所を触ったり舐めたりして、最後は無理やり挿入してきました。自分が何をされているのか訳がわかりませんでした。ただただ怖くて、目も開けられず、身体が固まってしまい身動きひとつ出来ませんでした。声も出ませんでした。それから尿を出した後も残尿感があるようになり、一滴もでないのにまたトイレに入り直す事もありました。それは今でも変わりません。次の日おばさん達の顔を見ても、自分が悪い事をしたようで口にする事は出来ず、反対に怒られるのではないかとドキドキしました。

14歳の時に性被害に遭いました。犬の散歩の途中、小汚い50代と見られる男がスクータで近付いてきて道を聞いて来たので、教えてあげていると、男は急に私のスウェットパンツの腰の辺りをつかみ、私はガドレールの方をむかされました。男は「静かにしとったんがええよ！」と言い放ち、車の整備でもしたような真っ黒な手を私のパンツの中に入れて来て、指で私の性器をいじりました。私が「もう止めて下さい」と言うのも聞かず、男は長い時間、指を挿入までしてきました。男が最後には「よ～し入れさせ～の！」と言ってズボンのファスナーをずらし性器を出す時に少し身体が離れたのを見計らい、私は勇気を出してどんとその男を突き放しました。すぐ後ろの民家の門に入って行き、ドアホンを鳴らしていたら、男はスクータで去って行きました。私は泣きながら家に帰り、親に「犬を綺麗にしてやって！私は風呂に入りたいけん。」と言いました。散歩の時間がいつもの倍掛かり、私が泣いているので、両親に追求されました。「痴漢にあってあっちに逃げた」と私が言った途端に、父は防犯用に置いていた振り回せる位の角材を持ち、裸足で「殺したる！」と言って飛び出して行きましたが後のまつり。帰って来て「警察呼べ～」とすごく怒っていましたが、私は一刻も早くあの男の脂ぎった汗と汚れた油の臭いが早く取り除きたくて「とにかくお風呂に入らせて」と言い、泣きながら何度も何度も触られた所を念入りに洗いました。未だにあの男の匂いは忘れられません！街であいつに似ている男をみると睨んでしまいます。その日は私をそっと寝かしてやろうという事になり、次の日警察に行きました。すごく事細かく聞き出され、私が勇気を出して犯人を跳ね退いたから強姦までいかなかったのに「そこまでやられているのは隙があったんじゃないのか」などまるで私の方が悪いかの様な取調べでした。最後の最後に「痴漢は人物が特定できて現行犯じゃないとつかまえれんよ～」などと言われ「え～じゃあなんで事細かく聞き出した

訳？もういい！警察なんてあてにならないのがよくわかったけん。自分で自分の身は守るわ！」と思い、いつもポケットにはカッター - やナイフ類を忍ばせ、変な人が近付いたらポケットに手をいれいつでも振り回して抵抗出来るようにしていました。

19歳の時は痴漢に遭いました。東京での仕事のそれも初出勤の朝地下鉄で。スカートの下から手を入れてこられ下着の上からまさぐられ、怖くて声も出せませんでした。でも回りに沢山の乗客がいたので目で訴えましたが、みんな全然知らん顔。今思うとみんな仲間を取り囲んでいたのではないかと思います。

成人してからもお付き合いする男性がいざという時に、昔の嫌な行為が脳裏に映り「嫌 - っ！」と断ると、私の事を性的対象にしか思っていない男の人からはすごい言葉で傷つけられ、ひどい人にいたっては暴力を振るわれました。まともな恋愛はもちろん、結婚なんて到底無理だと思っていました。

## 立ち上がる決意

私はあいりちゃんの事件を機に、「私達体験者しか解らない苦しみを訴えていかななくてはならない時が来ているんだ」と振るい立ち、微力であるか解らないけど、木下さんご家族を助けたいと思いました。

今より現場に近い所に住んでいたものですから、事件のあの日の朝から、空から聞こえる報道などのヘリコプターの音に、妙な胸騒ぎを感じたのを今も忘れる事ができません。TVのニュースで「女の子が段ボールに入れられ発見！」と聞いた時「まさかこんな近くで...。」と声を失いました。報道やマスコミでは「近くの不審な男性をマ - クしている」だの「第一発見者の方も」だの...。でも近いからわかるのです！「その方達は昔から矢野地区に住んでいらっやって、そんな事をされる訳がない。」と。事件が明るみになるに従い性犯罪ということも解り、すぐにでも現場に駆け付けたかったのですが、私も過去にいろんな苦しみがありすぎたせいで軽い統合失調症と境界性人格障害という診断名がついている精神障害者なものですから、マスコミに声をかけられてパニックを起こしても...と思い、行くことができませんでした。「献花台を取り除きます」と言われていた前の日ならマスコミも来ていないだろうと考え、現場へ行きました。あいりちゃんへのクリスマスプレゼントのぬいぐるみと手紙を添え、小雪が舞い風でめくれたシートを泣きながらかけてあげて手を合わせた時、あいりちゃんがあんなことされたのに、笑顔で「おばちゃんありがとう」って言ってくれたのです！そのお陰で木下さんとの今があり、事件についてご理解のある方がたくさんいらっしゃることに驚くとともに、グチグチしているだけじゃなく立ち上がる時が来たのだと気付かされたのです。

## 勇気と安心を

ご覧になられた皆様が少しでも心和む事ができればと思います。

より多くの人々に「人生悪いことばかりじゃないよ！」「今の世の中悪い人ばかりが目立っているけどそれはほんの一握りであって本当は人間って素晴らしいのだよ！」「生きることの意味！人とは支えあっているからこそ人として成り立っているのだ」というようなことが伝わるといいなぁと思っています。

私は主人と出会って理解してもらい、赤ちゃんまで無事に生ませて頂きました。それまで生き地獄だと思っていて、何度も自殺未遂や自傷行為を繰り返し、両手とも焼いたり切ったりの跡で一杯です。でも、赤ちゃんの顔を見た途端「生きててよかった～！女でよかった。」と生まれて初めて心の奥底から思いました。娘はみんなに囲まれ笑顔一杯にしてくれます。

娘の顔をみながら時折、「あいりちゃんもこんな感じで可愛かったんだろうなぁ。」とか「どれだけ我が子を愛おしくお世話をしていらしたことだろうか...。」と同じ女=母としてあいりちゃんのお母さんの事を考えてしまい、胸の辺りが熱くなってしまいます。「暗く考えちゃいけない！これからのプラスに繋げなきゃ。」と時折娘の顔の上に、あいりちゃんあの可愛い笑顔がだぶって見える事がままあるので、「時間の空いている時を見計らって空の上からあいりちゃんが遊びに来てくれているのかなぁ。」とちょっぴりほくそ笑みます。

正直な気持ちを今まで隠して生きて一人で苦しんできたけど、母として、あいりちゃんと同じ性犯罪被害者として、「それではいけない！どれだけ卑劣な事なのか、どれだけ重い荷物を背負い込みトラウマと戦いながら生きていかなきゃいけないのか！」体験者じゃなきゃ伝わらない気持ちを、今世間にしてもらうチャンスを、あいりちゃんが後押ししてくれているのだと思うと勇気が湧いてくるのです！

私の場合あいりちゃんと違って、生かされているという事は、同じような苦しみを味わい自ら命を絶ってしまった方や、あいりちゃんのように手をかけられて亡くなってしまった人々の代わりに、何かを世の中に訴えていってほしいと託されているように感じ、私はこれから育ち行く命はもちろん、これから生命を宿したいとお考えの女性に少しでも勇気と安心をと思っています。

本当に赤ちゃんの力って不思議です！つい3、4週間前まで死にたいとすぐ考えていた私が、今なんて娘が生きている限り、母は娘を守る為に絶対寿命は全うしようとしているのですからねえ。娘や神様並びに娘に関わった人々みんなに感謝です！

## 更に重くなるばかりのフラッシュバック

私が精神的に不安定になり精神科へ入院になったとしても、乳児院や他のところへ預けても大丈夫なように「ミルクに慣らしておこう。産院を退院してからも積極的な母乳育児は考えず、混合で行こうね。」と言う事になりました。

その後、それまでの様々なことから主人と離婚話になり、私は精神科へ入院し、娘を乳児院へ預けることになりました。

私は娘が居てくれるお陰で自ら命を落とそうなどやっと思わなくなりました。それでもいろいろな事が重なり過ぎると精神薬が増え、副作用との戦いに苦しみ続けました。一睡もできず、食べるもののあまり口に来ず、身体がだるくて仕方なく今にも倒れそうな毎日のなか、娘のいる乳児院には気力だけで面会に行っている感じでした。しんどくて家事ができず、人に会いたくなくて引きこもり気味でした。病気の幻聴も凄くて毎日疲れていました。

そんな中、あいりちゃんの支援者の方のメールに、悲しみにうちひしがれていただけの自分に気づきました。そして「あいりちゃんをはじめ、多くの性犯罪被害者のために私に出来る事をやって行こう！」と、性犯罪被害者として生きてきた複雑な気持ちを素直に表現した文章を書くことを決めました。

しかし精神薬の副作用のため薬剤性のパーキンソン病の症状が出て、震えなどのせいで綺麗な文字もかけずパソコンもHPを開いてみるのがやっとの状態でした。控訴審へ向けてのお手伝いができず大変悔しい思いを毎日していました。一時期娘と自殺しようと本気で思ったこともありました。

その後もフラッシュバックがとてもしんどくしんどい日が続いていましたが、やっ和前向きに娘の幸せだけを考えてやろう思い始めていました。

昨年末にはOD（薬の大量摂取）をやってしまい、胃洗浄をされました。失語症のようになって、自分の考えていることを話そうとしたら上手く言葉が出なかつたりどもったりと大変でした。

性犯罪のフラッシュバックは年を重ねるごとに軽くなるのではなく、どんどんその内容や意味がわかって来るせいか、重く苦しい物です。

それからしばらくしてから、自殺を考えて毎日を過ごしていました。しかしながら、かわいい娘を道連れにするか残していくべきかをすごく迷っていました。あの子が何事もなく幸せに暮らしていける保障は今の世の中ないのです。私のような事になるかもしれません！他の性犯罪被害者のようになるかもしれません。ましてやあいりちゃんのように関係者みんなが苦しむようなことになるかもしれません！「子供まで道連れにしなくても…」という声がよく聞かれますが、その子を愛するがゆえに一緒にと考えてしまうのです。

この世の中いいたい人の方が多いのに、この上ない卑劣な人間も平気な顔で生きているのですよね。とても悲しいことです。

今現在、私は記憶障害に悩まされています。今までの楽しかった出来事が白いもやの中に奥深く入ってしまっているのです。そのかわり今まで起こった辛い出来事が午後や夜眠っている時まで思い出され、寝ている時は手の届く範囲にビニール袋を置いとかないと過呼吸になることがあり悩まされています。気持ち悪いですよ。とくに性被害のフラッシュバックがひどく涙が止まりません。最近毎日14歳の時に被害にあった時の記憶がかなり頻繁にフラッシュバックしてきて臭いまでしてくるのです。

精神科の先生へ聞くとそれらのフラッシュバックが除かれないと、楽しかった記憶はいつ戻ってくるか、治るのにどれだけの日にちがかかるか見当がつかないそうです。早く記憶を取り戻すためにカウンセリングを受けています。ここで性被害の卑劣さを専門家の先生にわかってもらうよう頑張ります！

性被害にあった時のことは特に自分を責めて、従兄の時はすぐ誰かに言うべきだったとか痴漢の時はバイクのナンバーをきちんと見ておくべきだったとか、犬の散歩中だったので犬を離しても抵抗すべきだったとか、次から次へと後悔するばかりです。

毎日自殺の事を考えていますが娘の存在が止めてくれています。娘様々です。

## 防犯に役立ててください

こういうケ - スもありますから、自分のお子様に「男の人が近付いて来たらすぐに防犯ベルを鳴らす準備をしなさい。」とか「道を聞いてきても手の届く範囲では教えない！」とか、私の体験を、あいりちゃんやその他の性犯罪被害者さん以外のまだ傷ついていない方々に防犯に役だててほしいと思います。

私が中学生3年生の時です。車の中から40代の男が、ふとももに置いている地図を指しながら「ここってこの地図では何処ら辺りになるん。」と聞いてきたので、ボンネット側に立ち警戒しながらひじから下だけを車に入れながら説明していました。説明が終わったと同時に男がにやけたかと思ったら畳んだ地図の下で自分のいきり立たいちもつを出していたのです！私は中1の時のあの性被害からは強くなっていたので、「ばっかじゃな~い！」と言い放ってやったら、罰悪そうに車を走らせました。同じ時期他の生徒も、何人か同一犯と思われる被害にあい、大概の子は悲鳴をあげたものだから、そいつはうれしがってそのままの格好で車を降りて追い掛けるという問題になった事がありました。このように小さな事でも大きな被害になる前に食い止めなきゃいけない時代が来ているのです！

## より多くの方に理解してもらいたい

トレス・ヤギ被告の控訴審初公判で弁護側の趣意書の中に、「抵抗のあとがない」というものがありました。

抵抗の跡などあるはずがないのです！

恐怖で身が固まってしまい、動けないし声も出ないのです。

私の場合は普段は優しい従兄だったのに、ただただ怖くて、目も開けられず、身体が固まって身動きひとつ出来ませんでした。

年齢を考えてほしい。自分が何をされているのかもわからないのです。

性犯罪は殺人と一緒にです。とにかく一言では言いあらわせない卑劣な犯罪と言う事です。何歳になっても忘れる事のできない物なのです。ひどいケースが私のように精神病のようにフラッシュバックがひどかったりする場合でしょう。1番言いたい事は犯人にも好きな人大事な人がいらっしゃると思いますが、そのかたや自分自身が被害者だったらどんなお気持ちでしょうか？と言う事を考えてほしいのです。

2008年11月